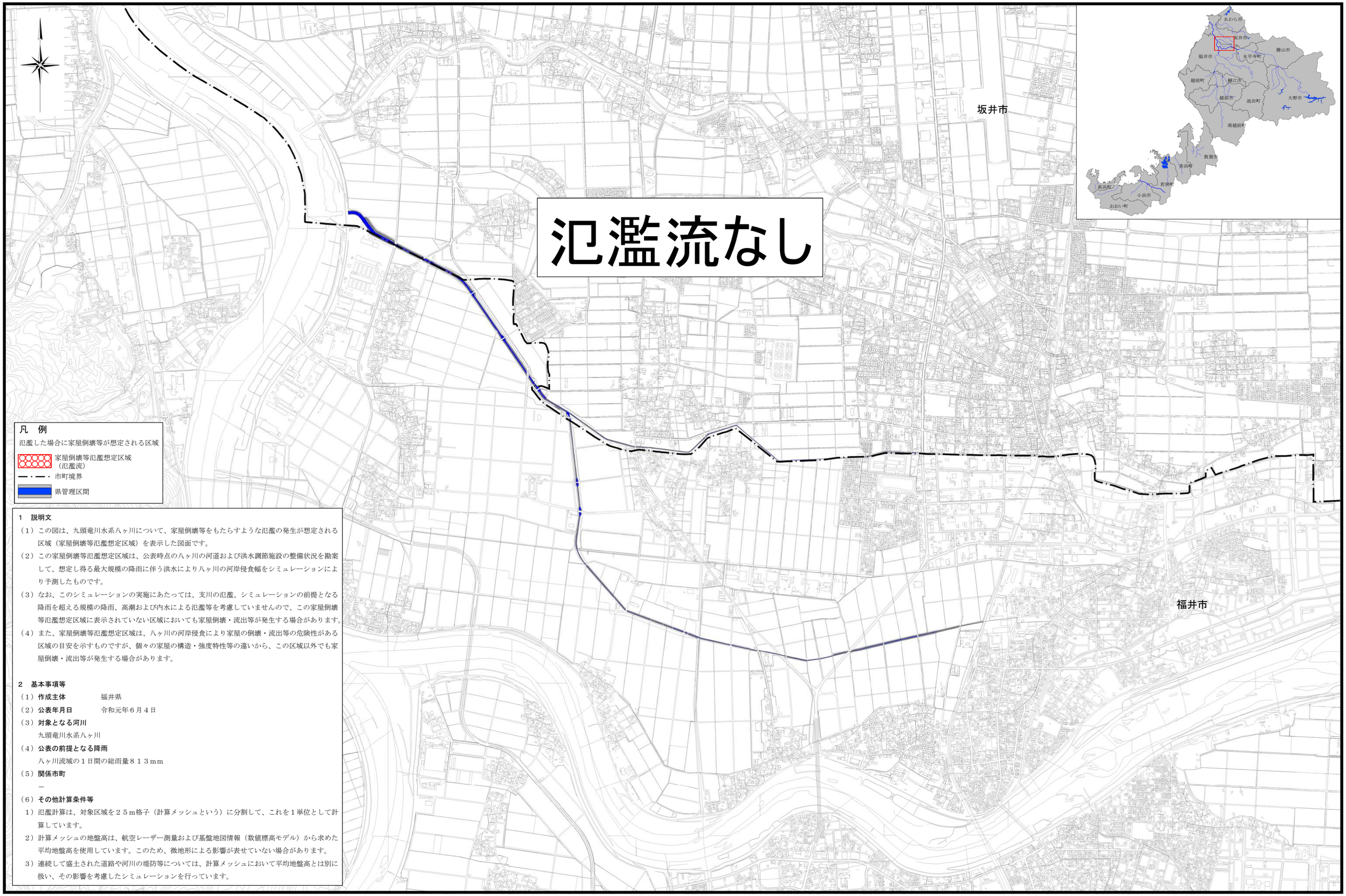
九頭竜川水系八ヶ川・北川　家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流）



1　説明文

（1）この図は、九頭竜川水系八ヶ川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

（2）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の八ヶ川の河道および洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により八ヶ川の河岸侵食幅をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮および内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に表示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

（4）また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、八ヶ川の河岸侵食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域以外でも家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

2　基本事項等

（1）**作成主体**　　福井県

（2）**公表年月日**　　令和元年６月４日

（3）**対象となる河川**

九頭竜川水系八ヶ川

（4）**公表の前提となる降雨**

八ヶ川流域の１日間の総雨量８１３ｍｍ

（5）**関係市町**

－

（6）**その他計算条件等**

１）氾濫計算は、対象区域を２５ｍ格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。

２）計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量および基盤地図情報（数値標高モデル）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

３）連続して盛土された道路や河川の堤防等については、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
（承認番号　平３０情使、第１６３７号）